

住民と議会をつなぐ

# すみた 議会だより



「鯉のぼりと  
背比べ!!」

《世田米保育園》関連記事20P



3月議会のあらまし  
町長施政方針2026

予算審査特別委員会

少ない人口でも豊かな暮らし

一般質問は7人が登壇

教育環境の整備などで論戦

すみたあつもりミーティング

②

④

⑨

⑱

岩手県住田町議会



# 第15回定例会 (3月議会) あらまし

# 「この町に 住んでいてよかった」と 実感できる町づくりを

## 2026ピックアップ!

## 町長施政方針

### 健康推進

#### 人間ドック助成拡大

76歳以上を対象に、人間ドックの受診費用の一部を助成する仕組みを新たに導入し、町民の健康づくりを推進します。

### 行政DX

#### 住民票コンビニ交付

住民の利便性向上や業務効率化を進めるため、住民票などのコンビニ交付の導入に着手します。

### 住田中学校

#### グラウンド環境整備

住田中学校の校庭に、恒久的な電気柵を設置。野生獣の侵入を防ぎ、安全で安心な学習環境を確保します。

### クマ対策

#### 緊急銃猟制度に対応

緊急銃猟制度を適切に運用するため、鳥獣被害対策実施隊の手当やなり手確保策を拡充し、体制強化を図ります。

### 林業振興

#### 林業応援隊員の募集

森林整備の担い手確保策として、林業応援隊を広く募集採用し、町内の林業事業者へ委嘱します。

### 企業人材

#### 地域活性化企業人

首都圏の民間企業人を一定期間受け入れる地域活性化企業人制度を活用し、町内企業の課題解決に取り組みます。

### 住田高校

#### 下宿費を助成拡充

県外入学者などの増加を期待し、教育振興事業補助金による下宿費の助成を拡充します。

3月定例会は、3月3日から3月13日までの11日間の会期で開かれました。町長施政方針演説、教育長教育行政演説の後、7議員が一般質問に登壇。町政諸課題について議論を交わしました。

その他、令和7年度各会計補正予

算、条例の制定や改正、指定管理者の指定、人事案件、令和8年度当初予算案など全32議案と発委2件を審議し、原案のとおり可決しました。発議1件は、賛成少数により否決となりました。

△ 東海新報社より写真提供



### 統合

農政商工課 → 農林商工課  
林政課 → 農林商工課

### 新設

獣害対策係 (農林商工課)  
情報戦略係 (企画財政課)

## 条例改正

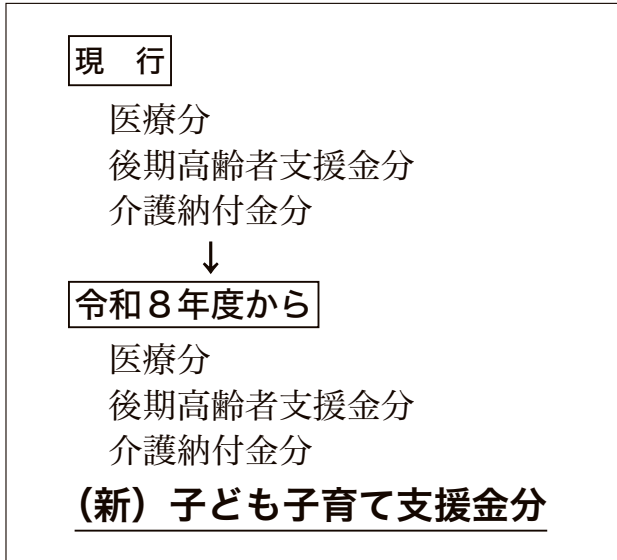
## 農林商工課に

## 住民に即応できる組織

### 新たに 2係設置

基幹産業である農業、林業、商工業が一体となり、さらなる産業振興を図るため、農林商工課を設置する。同課には、農作物被害防除と捕獲体制の両面を強化充実させるため、獣害対策係を新設。企画財政課には、情報戦略係を設ける。ホームページや各種SNSなどの充実をはじめ、町民の利便性向上と役場業務の効率化を図るためのデジタル行政改革を推進していく。

## 国民健康保険税の構成



### 子ども子育て支援金分の平均徴収額

年度	1人あたり月額	1人あたり年額	1世帯あたり月額	1世帯あたり年額
R 8	250円	3000円	350円	4200円
R 9	350円	4200円	450円	5400円
R10	450円	5400円	600円	7200円

※税額は年収や世帯構成によって変動

# 子ども子育て支援金

## 各種医療保険に負担上乗せ

令和6年6月に国の法改正により、子ども子育て支援金制度が創設。同制度は、少子化対策の強化を目的に、その財源を確保するために導入された仕組みとなる。令和8年4月より、公的医療保険の保険料に上乗せされる形で徴収が開始。今回、国民健康保険条例を改正し、同支援金に係る課税を規定するなど、所要の整備を図る。

**問** 子ども子育て支援金の用途は。

**答** 同支援金が活用される事業は、児童手当の拡充や妊婦への支援給付、乳児への支援給付などの6事業となっている。

## 民間の知恵を活かしさらなる有効活用へ 町有2施設 指定管理者に **同意**



### 種山ヶ原体験交流センター（遊林ランド）

バイクの駅としての活用を構想。軽食やドリンクも提供して、種山での憩いのスペースに。交流人口の拡大が期待される。

指定管理者 (有) セットアップ

(大船渡市)

指定機関 令和8年4月1日～

令和11年3月31日

選定方法 選定委員会による選定

指定管理料 年間 360万円

※セットアップ 大船渡市ですでにバ

イクの駅を運営。令和7年は種山でバイクイベントを成功させた。



### 仕事と学び複合施設（イコウエルすみた）

キャッシュレス決済や利用時間の見直しで、利便性の改善策を提案。イベントなども開催。利用者増が期待される。

指定管理者 一般社団法人 浄土日和

(宮古市)

指定機関 令和8年5月1日～

令和11年3月31日

選定方法 選定委員会による選定

指定管理料 年間 1450万円

※浄土日和 三陸ジオパーク、潮風ト

レイルなどのガイド業務、アウトドアイベント企画などの実績を持つ。

# かな暮らし実現 種事業を本格推進～

令和8年度の一般会計予算、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の各特別会計予算、簡易水道・下水道の各事業会計予算は3月9日から11日の3日間にわたり予算審査特別委員会（阿部祐一委員長）で審査しました。委員の質疑からいくつかをお知らせします。採決では、全会計予算が賛成多数で可決されました。

予算審査特別委員会

## 移動手段の選択肢を広げる

### 公共交通対策事業 4598万円

令和7年度に、コミュニティバスが再編され、予約式バスの実証運行が開始となった。加えて令和8年度には、高校生帰宅乗合タクシーとスクールバス混乗化の実証運行を行う。公共交通対策事業では、従来からある路線バス2路線（陸前高田住田線と大船渡住田線）の運行への負担金や補助金なども含め4598万円を計上した。



△ コミュバスと予約式バスがともに利用できる役場前のバス停



△ 予約式バス（愛称募集中）

今後、これら町民の移動手段の選択肢を広げる試みが、どれだけ町民に定着し、町民の利便性を向上させていくのか注目される。

高校生帰宅乗合

タクシー実証運行

220万円

**問** この実証運行は、どのような対象が利用できるのか。

**答** 町内在住の高校生で町外に通学し、夕方の部活終わりに路線バスの便が無くなる方が対象となる。需要があれば複数の生徒の乗合となる。乗車は、午後7時から7時半の時間帯が目安。予約は生徒自身が行う。

**問** 生徒の負担はどの程度となるのか。

**答** 生徒の帰宅事業であるが、路線バスの料金よりは高くなる。

## 令和8年度 各会計予算

区 分		令和8年度	前年度	伸び率
一般会計		54億6100万円	53億5900万円	1.9%
特別会計	国民健康保険	6億3534万円	6億7122万円	△5.3%
	介護保険（保険・サービス）	10億3074万円	10億1566万円	1.4%
	後期高齢者医療	1億320万円	9316万円	10.8%
企業会計	簡易水道事業（支出予算）	2億5855万円	2億735万円	24.7%
	下水道事業（支出予算）	2億9344万円	1億6380万円	79.1%
合 計		77億8227万円	75億1019万円	3.6%

令和8年度  
一般会計予算  
ほか5会計予算  
を可決

# 少ない人口でも豊 ～総合計画2年目 各

## 令和8年度の注目事業①

### 町民ホール吸音対策工事等 2213万円

**問** 町民ホールは庁舎建設当初から音響が良くない。改善策は講じられたが十分でない。令和8年度の工事は、どのようなものか。

**答** 今までは、スピーカーの増設などで対応してきた。苦情があるのは把握している。令和7年度に専門業者の調査で残響音が長いことが問題と判明した。



△音響課題解決へ期待

ホール脇と天井に吸音材を張る対策工事などを、令和8年度に実施する予定である。

### 自治公民館活性化モデル事業 150万円

**問** モデル事業の目的と内容は。何力所程度を想定しているか。

**答** 自治公民館は、高齢化などにより活動が停滞しているところもある。活動を一度見直し、より効率的な組織になるよう集中支援したい。自治公民館からの自由提案や独自アイデアも募集する。3カ所を想定している。



みなかわ  
皆川 繁雄さん  
(上有住字天獄)

**自助・共助の要**  
自治公民館は住民に一番身近な組織。自助・共助の要。公民館を中心に、世代間で顔が見える関係作りが重要。

### 部活動地域展開活動支援補助金 142万円

**問** 地域展開を始めるのはどの部活か。

**答** 住田中学校の女子バレー部、男子女子ソフトテニス部の3部を想定している。

**問** 指導者や体制、実施場所はどうか。

**答** 3部で地域指導者体制ともに整っている。住中体育館や町内施設での実施となる。



かんの  
菅野 幸紀さん  
(世田米字日向)

**笑顔でプレーを**  
部活動の地域展開では、技術指導のほか、礼儀や感謝の気持ちの育成、笑顔でプレーできる体制づくりが大切。

### 保育ICTシステム導入 1157万円

**問** 新たな取り組みだが、どのような事業なのか。

**答** 保育ICT化とは、登降園管理、日々の保育記録、保護者への連絡などの保育業務をパソコンやスマホを活用してデジタル化し、一元管理する仕組み。これまでの手書き中心から、時間短縮と負担軽減が図られる。園児



△園児とのふれあい充実へ

と向き合う時間が確保され、保育の質向上と安全管理が強化されることが事業目的である。

## 町有林造成事業 7318万円

**問** 大船渡市の林野火災の復旧が進む中、森林組合との連携は。

**答** 造成する面積はどのくらいか。造成の規模感は、再造林が10ha、下草刈りが33ha、徐間伐が71ha、枝打ちが38ha、忌避剤散布が12ha、杉シエルター設置が5haなどである。



△ 気仙地方森林組合の植林作業

**問** 町有林事業に關し、労働力の十分な確保などで意見交換をしている。

**答** 町有林事業に關し、労働力の十分な確保などで意見交換をしている。

## 住田若者会議等開催事業 150万円

**問** 会議内容や目的はどのようなものか。

**答** 対象は町内外の40代までを想定している。役場からは担当課に加え他の若手職員も参加する。今後のまちづくりをテーマにしたい。何か新しい取り組みや提言に繋がれば良い。人材育成的な側面にも期待している。



今野 一洋さん  
(世田米字川向)

### 子育ての町へ

小学生の給食費が無償化。会議では、子育て環境を充実化させていく話を進め、子育ての町と言われるように。

## 空き家対策事業 185万円

**問** 令和8年度はどのように取り組むか。空き家所有者へ意識調査を実施する。

**答** 対策の前提となる全戸調査の結果は。空き家は町内全体で163戸、管理不十分な空き家が23戸、倒壊の恐れのある「特定空家」が7戸あった。



佐藤 光男さん  
(下有住字新切)

**問** 町の関わり期待

**答** 空き家の管理者も高齢で遠方の方も多し、動物が住み着いたり、周囲の環境も悪化。町の関わりに期待したい。

## みちのくGOLD浪漫関連事業 955万円

**問** 加盟で構成資産となる可能性が高い「紺紙金字一切経」の展示はどうなるのか。

**答** 当町には博物館が無い。そのため、温度や湿度などを管理できる



△ 注目を集めた関連シンポジウム

**問** 令和8年度の関連事業の内容は。

**答** 加盟が認定された場合の懸垂幕、シンポジウムの開催、ウェブサイトの更新など。

湿度などを管理できる。然るべき博物館に委託（保管や展示の管理を委託）する見込である。

### 賛成討論

#### 新規事業を評価

荻原勝 委員

令和8年度予算は、令和11年度までの5年を期間とする新たな総合計画の2年目となる。保育ICTシステムの導入、高校生帰宅乗合タクシーの実証運行、若者会議の開催など、新たな事業が数多く含まれており評価できる。予算全体としても、人口減少などにより一般財源の減少が見込まれ、高齢化などに伴う社会保障費の増加や物価高騰への対応により厳しい財政状況が続くと見込まれる中、住民福祉の増進を図りつつ、基本的な行政サービスを提供し続けていくための予算であると評価し、賛成討論とする。

# 条例制定

## 保育環境の充実へ

### こども誰でも通園制度

国のこども未来戦略に基づき、孤立した育児の不安や集団生活を

通じた子どもたちの成長を促すため、全ての子育て

世帯を対象とした「こども誰でも通園制度」

を実施する。令和8年度より、全国一斉に本

格施行となることから、

当町においても条例を新たに制定した。

**問** 新事業の実施にあたり、保育士の配置や体制整備はどうか。

**答** 現状の保育園事業では、十分な体制を整えている。新事業

では、申し込みがあった際、保育士の配置が

可能な場合に限り、受け入れをしていければと考えている。

#### こども誰でも通園制度の主な概要（住田町版）

項目	内容
対象児童	保育所等に通っていない0歳6か月児～3歳未満児
実施時間	午前9時～午前11時
利用時間	1回の利用時間を原則2時間とし、月10時間を上限とする。
利用者負担	利用料は無料。(実費徴収が必要な場合は同意の上で可能とする)
定員	1日あたり各施設 2名まで

※保護者の就労要件は問わない

# 補正予算

## くらし応援 予算を配分

### すみチケ2026

**問** 福祉施設に住所を移している町民への販売対応はどうか。

**答** 販売者側で町内在住者かどうかを確認することができ、

家族の申し出により、受付が可能となる。

**問** 町民に販売しきれなかった場合、町外に在住する町内勤務者に販売すると伺った。

**答** 物価高騰対策は、各自治体ごとで実施されている。町民に十分還元される事業とすべき。

まずは町民に十分に購入をしていただきたい。これまでの

経緯も踏まえ、券が残った際には、第2弾として、町外の町内勤務者にも対象を広げていければと考えている。

## 第14回臨時会 1月13日

### 物価高対策 各分野幅広く

7年度一般会計補正予算

#### 主な事業

- 使って応援住田チケット2026
- 生活困窮者生活応援給付金
- 医療施設等物価高騰対策支援金
- 省エネ家電購入促進事業補助金

### 人事異動 議会事務局

(新) 事務局長 菊池 克洋  
(住民税務課から)

事務局長 菅野 享一  
(農林商工課へ)

### 繰越明許費

令和7年度 繰越事業 (5事業)

事業名	金額
町勢要覧印刷事業 (令和7年度町政施行70周年に伴う)	371万円
省エネ家電購入促進事業 (冷蔵庫、エアコンが対象)	500万円
住田チケット2026事業 (発行業務委託料)	1億2万円
道路等改良事業 (昭和橋架け替え工事に係る負担金)	1億4915万円
避難所環境改善事業 (パルーン投光器、レスキューテントなどの整備)	1270万円

繰越明許費とは

年度内に使いきれない予算を、議会の議決で翌年度へ繰り越して使えるようにする制度。

# 人事案件

【教育委員】

の任命に同意



おの かえ  
小野 香江 氏

住所

世田米字世田米駅

任期

令和8年4月1日  
～  
令和12年3月31日

【固定資産評価審査委員】

の選任に同意



みずの ゆたか  
水野 豊 氏

住所

世田米字川向

任期

令和8年3月27日  
～  
令和8年10月12日

## 議案審議

オンライン化発委2件 可決

一律消費減税発議1件 否決

件名	発委第1号 住田町議会会議規則の一部を改正する議会規則
	発委第2号 住田町議会委員会条例の一部を改正する条例
提案要旨	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、議会に係る手続きについてオンラインによることを可能とするための会議規則の改正など、所要の整備を図る。
主な改正内容	タブレット端末の導入に伴い、オンラインによる会議の招集通知の送付や常任委員会などにおけるオンライン会議などの実施を可能とする。
提出者	議会運営委員会 委員長 瀧本 正徳
採決	可決

件名	発議第1号 食料品の消費税ゼロ税率措置の課題を踏まえ、一律的な消費減税を求める意見書
提案要旨	物価高騰の長期化により、国民生活と地域経済は厳しい状況にある。政府が検討する食料品の消費税ゼロ税率措置は、対象の線引きによる不公平、事業負担、効果の限定性などの課題がある。このため、食料品限定措置を見直し、簡素かつ公平で分かりやすく、国民が実感しやすい負担軽減と地域経済の下支えにつながる消費税率の一律的な引き下げを求める。
提出者	水野 正勝 議員 他2名
採決	否決

賛否の分かれた議案	金野千津	荻原勝	佐々木初雄	佐々木信一	瀧本正徳	村上薫	阿部祐一	林崎幸正	菊池孝	高橋靖	水野正勝	佐々木春一	議決結果
議案第1号 令和8年度住田町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	可決
発委第1号 住田町議会会議規則の一部を改正する議会規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	可決
発委第2号 住田町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	可決
発議第1号 食料品の消費税ゼロ税率措置の課題を踏まえ、一律的な消費減税を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	○	—	否決

# 一般質問

# 町の考えを問う

## 教育環境整備・産業振興 人口減少対策などで論戦

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
10	村上 薫	①地域産業と町の活性化 ②(仮称)新昭和橋と中心地域活性化 ③日本遺産「みちのくGOLD浪漫」への追加認定
11	林崎 幸正	①経済対策 ②小学校の統合と学校跡地の利活用 ③町長の東京方面の出張による成果
12	金野 千津	①公共施設の整備の見直し ②住田高校の地域創造学の発信
13	荻原 勝	①小中学校における鳥獣害対策 ②6つのプロジェクトの展開
14	瀧本 正徳	①将来を見据えた事業のあり方 ②クマなどの獣害対策の対応 ③簡易水道事業の健全化
15	阿部 祐一	①町道の整備 ②農業振興
16	佐々木 信一	①防災対策 ②人口減少対策

一般質問では、議員が執行機関である町に対し、行財政全般にわたり、施策の状況や将来の方針などを聞き、所信や疑問点をただします。

質問方法は、1回目は町への通告内容を一括して質問。2回目以降は1問1答方式を採用しています。持ち時間は、答弁を含めて60分です。

ここからは、主な質問と答弁を要約し、登壇順にお知らせしていきます。

全文記録(議事録)は、役場庁舎2階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。  
(QRコードで議会ホームページへ直接進むことができます)

▼QRコード



# 問 みちのくGOLD浪漫 認定申請を



むらかみ 村上  
かおる 薫 議員

町の考えを問う

新昭和橋は、新しい町の顔として歴史を刻む。

議員のつぶやき

## 問 どう生かす新昭和橋効果

## 答 にぎわい創出へ活性化図る

**問** 令和9年3月に

(仮称)新昭和橋が完成する。新昭和橋と世田米商店街の一体感の醸成及び活性化をどのように図る考えか。

**答** 町長

新昭和橋完成を契機として、せたまい町歩きガイドや世田米商店

会などとの連携を図りながら、世田米商店街

はもとより、役場周辺まで含めた一体的な醸成は活性化に繋がると捉えている。

**答** 町長

町民からのアイデアも頂きながら賑わい創出、活性化に向けて取り組んでいく。

**問** 新昭和橋と蔵並みの魅力を増す施策として、散策しやすい環境

**問** 滝観洞は、新観光センター効果もあり、入洞者が2万人を超えている。この効果を中心地域へ誘う施策が必要と思うがどうか。

**答** 町長

滝観洞を基点として三陸ジオパーク、みちのく潮風トレイルなどとの連携を図りながら昭和橋周辺地域も含めた誘客、周遊に取り組みで行きたい。

## 答 文化庁に提出予定

**問** 国宝級といわれる「紺紙金字一切経」の一部が町内から発見されたことを契機に「みちのくGOLD浪漫」への追加認定を申請すべきと考えるがどうか。

**答** 教育長

追加認定申請時期は、令和8年3月9日から3月13日まで。追加認定に必要な書類などを既に事務局の宮城県涌谷町に提出。今後、涌谷町を通して文化庁に申請書を提出する予定となっている。

**答** 教育長

追加認定に当たっては、観光協会や民俗資料館を中心に活動している文化財ボランティア、世田米を中心に活動しているせたまい町歩きガイドの皆さんの理解と連携が不可欠。協力をお願いしたいと考えている。

**答** 教育長

**問** 認定への準備をどのように考えているか。

まずは、関係団体を対象にした研修会を開催し、基本的な知識の習得から開始したい。

**問** 「みちのくGOLD浪漫」に関し、町内関係団体との連携をど



△ 利便性向上と町の活性化が期待される新昭和橋

# 問 小学校の統合時期は

## 答 8年度早期に協議

**問** 町内2小学校の統合をいつ頃と見込んでいるのか。

**答** 教育長

保護者や教職員、地域の方々からも意見を頂き、統合に係る様々な分野に関し慎重な議論が必要と考える。

令和8年度の早い時期に統合推進協議会を開催し、統合の時期及び統合に向けたスケジュールを決定したい。

**問** 統合後、新たな小学校の候補地をどのように考えているのか。

**答** 教育長

学校建設には、多くの手続き、交渉、説明、検討などが必要である。児童数の減少による複式学級の対応は急がなければならない。

令和8年度の早い時期に方針を決定して、お示ししていきたい。

**問** 旧有住中学校と旧下有住小学校の両跡地をどう活用する考えか。

**答** 教育長

中学校跡地は、利活用を図るため、公募型プロポーザルで事業者を募ったが、申し込みにくい状況である。

小学校跡地も、進展がない状況。当面現状の管理を続けながら、活用のため情報収集に努めていく。



はやしざき 林崎 議員  
さちまさ 幸正 議員

小学校の統合と校舎の候補地を最良のかたちに。

議員のつぶやき

町の考えを問う

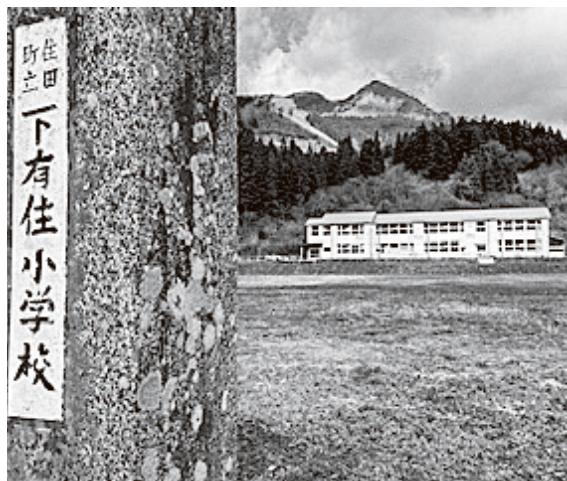
# 問 東京出張の成果は

## 答 協力関係を構築

**問** 町長による東京方面への出張目的とその成果はどうか。

**答** 町長

目的は、林野庁を始め各省庁や関係機関などへの陳情・要望活動である。企業訪問は、民間経済情勢の情報収集や企業版ふるさと納税への依頼などである。成果は、町の経済振興や住民サービスの向上をはじめ、施策の推進、新たな支援、協力関係の構築と考える。



△ 有効活用が望まれる旧下有住小学校跡地

**問** プレミアム商品券事業は、早期に実施すべきと考えるがどうか。

**答** 町長

現在、商工会と委託契約を済ませており、早期販売で調整をしている。

**問** 中小企業は、物価高騰や最低賃金の引き上げにより、厳しい現状にある。対策を講ずるべき。

**答** 町長

国は、総合経済対策として重点的支援地方交付金を拡充。県は、物価高騰対策賃上げ支援金の受付を開始している。町は、国・県制度の周知と若者の働く場の確保や助成制度を整備している。

経済対策

# 問 公共施設の方向性を

## 答 8年度に新計画策定



議員 ちづ きの 金野

町の考えを問う

いつ修繕されるのか。住民に説明できる計画を。

議員のつぶやき

**問** 老朽化が進んでいる公共施設では、必要な修繕が十分に行われず、不具合も見受けられる。公共施設個別計画の進捗状況はどうか。

**答** 町長 平成29年に策定した公共施設等総合管理計画に基づき、建築系の27施設の公共施設個別計画を策定し、管理してきた。建物の目標使用年数まで活用することを前提に修繕や改修工事を行っている。限られた予算の中、緊急を要するものを優先して対応しているため、修繕が先送りになっている場合もある。

**問** 公共施設について継続利用する施設、改修して活用する施設、使用中止し、廃止を検討すべき施設など、将来的な方向性をどのように検討しているか。

**答** 町長 現在の公共施設等総合管理計画は令和8年度までとなっている。9年度開始に向けて、新たに策定する予定である。計画策定の際には、中長期的な視点に立って、継続して利用する施設、改修して長寿命化を図る施設、集約化や統合する施設、解体する施設などの方向性を示していきたい。



△「サンクスフェス」  
高校を飛び出して、住民交流。若いアイデアを発信

**問** 住田高校の特色ある取り組みとなっている地域創造学の成果と町内外への広報にどのような工夫があるか。

**答** 教育長 地域創造学は生徒の主体性や課題解決能力を育むとともに、地域の活性化にも寄与して

きた。SNSを通じた発信や、教育研究所発表会、教育雑誌への掲載により、その成果と意義を伝えている。

**問** 地域団体や事業者との連携を広げるために町としてどのような支援をしていくのか。

**答** 教育長 マッチングやコーディネート機能を強化するため、教育職員にも支援を求めている。継続的な関係性が築けるよう、定期的な対話の場の充実を図り、町全体の取り組みとして位置づけていく。

**問** 今後どのような中長期的な方向性を描いているのか。

**答** 教育長 地域創造学の継続性を重視し、小中学校との接続の視点を踏まえた発展性を確保。有識者による評価や検証で、学びの質の向上と、さらなる発展を目指す。

# 問 地域創造学 成果と発展は

## 答 検証により学びの質確保

# 問 住田中 動物被害の影響は

## 答 授業や部活 体育館で

**問** 住田中学校グラウンドへの野生動物の侵入による体育の授業や部活動への影響はどうか。

**答** 教育長

令和7年5月19日の登校時間に2回、住田中学校校庭にクマ3頭が出没。その後も中学校校庭には、サルやイノシシ、ニホンジカ、アナグマなどの出没が相次ぎ、掘り起こしや糞などの痕跡が頻繁に

確認された。

教育委員会では、鳥獣出没による直接的な被害に加え、糞に含まれる寄生虫や細菌による被害を懸念し、中学校との連携により、体育の授業や部活動を校庭ではなく、体育館で行い、休憩時間においても校庭への出入りを自粛することとした。

体育館での活動によるストレスや部活動の

日程調整などに苦慮しているが、学習面や健康面への大きな影響は報告されていない。

**問** 令和8年度の主な対策はどうか。

**答** 教育長

学校敷地を恒久電気柵で囲うなど、鳥獣の侵入防止を図る。生徒の学習面や健康面への調査や観察は、引き続き実施していく。



おぎわら 荻原 まさる 勝 議員

昨年は学校周辺でクマの出没があった。登下校時の安全確保策はどうであったか。

議員のつぶやき

# 問 プロジェクトどう進める

## 答 調査研究し事業化目指す

**問** 総合計画では、特に重点的かつ分野横断的に取り組むべき施策群である「新たな公共交通」「人づくり」「在宅医療介護」「移住促進」「産業づくり」「コミュニティ活性化」の6プロジェクトが開始している。令和7年度の取り組み状況は。

**答** 町長

副町長がリーダーとなり取り組んでいる。9月には、プロジェクト各事業の現状や課題、今後の方向性や5年間

のスケジュールを管理表により整理確認した。直近では、プロジェクトを進めるための先進事例等調査研究進捗表を作成。令和8年度以降に向けた方向性を協賛検討した。

**問** プロジェクトの統括リーダーとして、何を達成したいのか。

**答** 副町長

6つのプロジェクトで日本一を目指す心意気で調査研究し、事業化させていきたい。



△ 6つのプロジェクトの中で先行している「新たな公共交通」。予約式バス実証運行のチラシ

# 問 施策全般の見直しは

## 答 住民懇談会を毎年開催



たぎもと まさのり  
瀧本 正徳 議員

町の考えを問う

**問** 将来を見据えた町のあり方や、施設全般の見直しに、住民との懇談の場を設けるべき。

**答** 町長 総合計画などの見直しは、町内各団体の代表者を含む協議会で意見を受け進めている。町民意見を双方向で交わし合い、町民一体の町づくりのための住民懇談会を毎年開催したい。

**問** 使用料や手数料、補助金などの見直しは。

**答** 町長 使用料、手数料の定期的な見直しは現時点で行っていない。経費

と比べ適正な金額か、検討していきたい。補助金・交付金は、予算編成や各種計画の策定において検証している。

**問** 水道事業は町民生活に直接関わる。今後の対応策はどうか。

**答** 町長 令和8年度から10年計画である簡易水道事業戦略を策定中である。給水原価が供給単価を上回る状況の解消に向け、令和8年度に料金に関し、水道審議会への諮問を考えている。

クマの出没は深刻事態。住田暮らしの楽しみ「山菜取り・キノコ狩り・溪流釣り・農林作業…」に不安。

議員のつぶやき

### 簡易水道

## 問 クマの個体数管理を

### 答 連携し捕獲圧を強化

**問** 年々深刻さを増すクマの出没事案に対して対策を進めるべき。個体数管理の展開は。

**答** 町長 令和7年度の町内のクマの目撃・出没件数は70件と過去最高であった。憂慮すべき事態と捉えている。クマ被害防止対策は、個体数管理、侵入防止対策、生息環境管理の3施策の総合推進が基本。人身被害を発生させないよう鳥獣被害対策実施隊とも連携し、捕獲圧を強化していく。

**問** 鳥獣被害対策実施隊が、安心して捕獲任務を担えるような器具・機材の整備はどうか。

**答** 町長 当町の鳥獣捕獲対策は、町鳥獣被害対策実施隊を中心に取り組みを推進している。隊員報酬や捕獲報償費のほか、猟銃やワナの購入、保険代など、捕獲活動に要する経費を補助し、実施隊活動を支援している。



△ 山菜シーズン。クマとの鉢合わせに注意

クマ捕獲用箱ワナや電気ショックカー、センサーカメラ、防護盾、トランシーバーなどを順次整備してきた。これらを貸与するなかで、隊員の安全性の確保、捕獲活動の省力化や効率化に結びつけていきたい。

# 問 支障木管理の促進は

## 答 必要な安全対策を実施

**問** 町道の通行の支障となる法面の立木の伐採が必要と思われる。

大きな被害となる前に計画的な対策を講ずるべきと思うがどうか。

**答** 町長

道路敷地内などにある立木は、その生育状況に応じて事前伐採を実施している。

町道の安全を確保するため「建築限界」が設定され、構造物を配

置してはいけない空間が定められている。土地の所有者にはこの建築限界を目安とし、伐採や剪定などの適切管理をお願いしている。

風雨などにより、道路交通に危険を及ぼす恐れがある場合には、やむを得ず緊急措置として伐採を行っている。

**答** 町長

特に急カーブの所は冬期間に脱輪などをしやすい。安全対策を図るべきと思うがどうか。

**問** 町道や農道など側に溝に蓋の無い所もある。

農道の急カーブなどは、現地を確認しながら必要に応じた安全対策を講じていく。

**答** 町長

道路側溝は町道が冠水しないよう排水することが主目的であり、新設工事を行う際には蓋をしている。

農道の急カーブなどは、現地を確認しながら必要に応じた安全対策を講じていく。



あべ ゆういち  
阿部 祐一 議員

意欲ある若手の担い手は、農業者としてはもちろん地域社会の担い手としても大きく育てるべきだ。

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 若手農業者へのサポートを

## 答 営農指導や設備投資を支援



△ 土づくりのため堆肥散布する若手農業者

**問** 農地集積を図りながら意欲的に経営を拡大する若手農業者が出てきた。貴重な担い手への円滑な支援が必要と捉えるがどうか。

**答** 町長

担い手育成の事業を活用した新規就農者には、営農指導と併せて規模拡大に伴う機械導入にも、国・県の事業を幹旋している。当町としても町単独事業である農業機械等導入支援事業費補助金の活用を促し設備投資を支援している。

**問** 高機能バイオ炭の活用をどう進めるのか。

**答** 町長

高機能バイオ炭と町の鶏ふん炭を活用しながら効果分析、普及拡大の可能性に取り組んでいる。令和7年度は、新品目にピーマンとネギを加えて実証試験に取り組んできた。バイオ炭の施用には多くの鶏ふん炭を使用するので耕畜連携とJクレジットの創出に繋がり、製造拠点の強みを生かし普及を図る。

# 問 どう進める関係人口創出

## 答 首都圏でつながり会議



ささぎ しんいち 議員  
佐々木 信一

町の考えを問う

柔軟な発想で  
若者と交流する  
ことが大切

議員のつぶやき

**問** 総合計画では、人口減少社会に適応し、豊かで活力ある暮らしを実現するとしているが、住田町をどのように維持していく考えか。

**答** 町長 人口減少のスピードを緩やかにしていく。現状維持や増加は相当困難であり、今後数十年間の人口減少は避けられない。人口減少をマイナスと捉えるのではなく、見方や考え方を柔軟に捉え、この町を未来の世代に繋いでいく。

**問** 移住や定住を希望する方に、安心して快

適に暮らせる住環境の整備が必要ではないか。

**答** 町長 総合計画において、移住者用住宅や町営單身寮の整備、住まいの相談窓口の設置に取り組む。

**問** 関係人口の創出や地域住民との交流が重要と思うがどうか。

**答** 町長 令和8年度は、町内の若者と首都圏の若者が交流する「住田つながり会議」を開催する予定。多くの若者が様々な人と出会い、刺激されることで、地域の活性化に繋がりたい。



△ 出初式で堂々行進の消防団

# 問 消防団員の確保策は

## 答 処遇改善に取り組む

**問** 消防団員は地域防災の核となっている。地域の防災体制を支える団員の確保に向けてどう取り組んでいく考えか。

**答** 町長 団員数の減少は喫緊の課題であると捉えて

いる。団員確保の取り組みは、個別訪問や知人・友人を通じた団員の勧誘に努めている。団員報酬の引き上げや出勤報酬の処遇改善にも取り組み、消防団とも十分に意見交換を行い、団員の確保に努

**問** 消防団の再編整備を考えるべきと思うがどうか。

**答** 町長 消防団組織再編は、重要課題として捉えている。消防団と意見交換を行い、進めていく必要がある。

**問** 消防団協力事業所への取り組みはどうか。

**答** 町長 住田町消防団協力事業所表示制度実施要綱に基づき、消防団の活動に積極的に協力する事業所に対して、その証として表示証を交付している。

# 議員定数報酬等 検討特別委員会を設置

## 議会 レポート

### 3期連続 無競争 議員のなり手対策

#### 本格調査開始

このほど当議会は、深刻な議員のなり手不足対策や議会のあり方を検討するため、「議員定数報酬等検討特別委員会」を設置しました。当委員会では、町の実情に即した、より良い議会の実現を目指し、本格的な調査や研究、住民との意見交換に取り組みます。

#### 特別委員会の編成

委員長 …………… 水野 正勝

副委員長 …………… 瀧本 正徳

(議長を除く全11議員で構成)

#### 特別委員会の主な活動

- 議会・議員活動に係る議員の活動量実態調査
- 議員定数・報酬に係る議員の意向調査
- 実態調査や意向調査の分析と協議検討、方向性の決定
- 決定した方向性に関する住民との意見交換会の開催
- 住民との意見交換会を踏まえた最終の協議検討、方向性の決定
- 年内の本会議にて、各検討事案に係る調査報告書を議長へ提出



#### 議員報酬改定の推移

	H10年～	H15年～	H17年～
議長	268,000円	263,000円	258,000円
副議長	215,000円	211,000円	207,000円
議員	203,000円	199,000円	196,000円
町長(参考)	705,000円	690,000円	675,000円

#### 負託に応える

地方議会には、多様化する地域課題に適切に対応し、住民に開かれた議会運営を進めることが一層求められています。こうした中、議員一人ひとりが、一般質問の意義や役割を再確認し、住民の負託に応える心構えを学び、今後の議会活動に生かすため、研修会を実施しました。

#### 講師

岩手県町村議会議長会

#### 参与

まいた  
米田 武美 氏  
たけみ

#### 主な研修内容

- ・地方議会の役割と責任
- ・議会の議決権限（政策決定）
- ・一般質問の意義と役割
- ・一般質問の留意点
- ・議員の職務・義務と心構え

#### 町政調査会長の ひつと

林崎 幸正 議員

今回の研修を機に、一人でも多くの議員が、一般質問や発言に取り組みことを願う。

議員研修会 令和8年2月10日

### 一般質問のあり方 議員の心構え

総務教民

委員長 阿部 祐一

団員の減少と高齢化が課題

調査項目

防災対策の強化

日時

令和8年2月25日

実施した活動

総務課との意見交換

意見交換の項目と内容

① 消防団の現状

町消防団は、1本部6分団、181名の団員(機能別団員を含む)で構成されている。団員数の減少と高齢化が大きな課題。

② 消防施設の状態

一部の消防屯所では老朽化が進んでいる。自治公民館を兼ねている屯所は、40年以上経過。建て替えなど、早急な対応が必要と捉える。

③ 自主防災組織の現状と課題

各自治公民館22カ所に設置されている。組織役員の引き継ぎが難しくなっている地域もあり、活動が停滞している組織もある。機能

や実効性を高める研修や訓練の充実を図り、地域に寄り添った活動となるよう後押しが必要と考える。  
④ 避難所の現状と防災マップ活用  
指定避難所として39カ所、指定一時避難所として16カ所が指定。災害の種類により、使用可能な避難所が限られる場合がある。

今後の調査予定

住田町消防団との意見交換



△ 改築が待たれる消防屯所

2 常任委員会 所管事務調査

産業経済

委員長 村上 薫

事業承継の課題を洗い出し

調査項目

地域産業の事業承継及び担い手確保

日時

令和7年12月19日

実施した活動

農政商工課、商工会との意見交換

意見交換の項目と内容

① 事業承継に係る町の取り組み

経営改善事業の一環として、専門業者である(株)ライトライトへの業務委託を行い、事業継承についての意向調査を実施。

② (株)ライトライトによる調査状況

町内事業所への継続意向調査を実施。その中で、事業承継の仕組みを説明してきた。これまで町内の相談件数は16件で、事業承継が出来た事業所は、1件となる。

③ 町内事業所の状況分析

後継者がいる場合でも、資金繰

りやコロナ対策の融資返済などにより、承継が難しい事業所がある。インボイス制度により、免税事業者(売上1000万円以下など)の負担が大きいかや赤字経営でも消費税を納める必要があることなども重荷となっている。

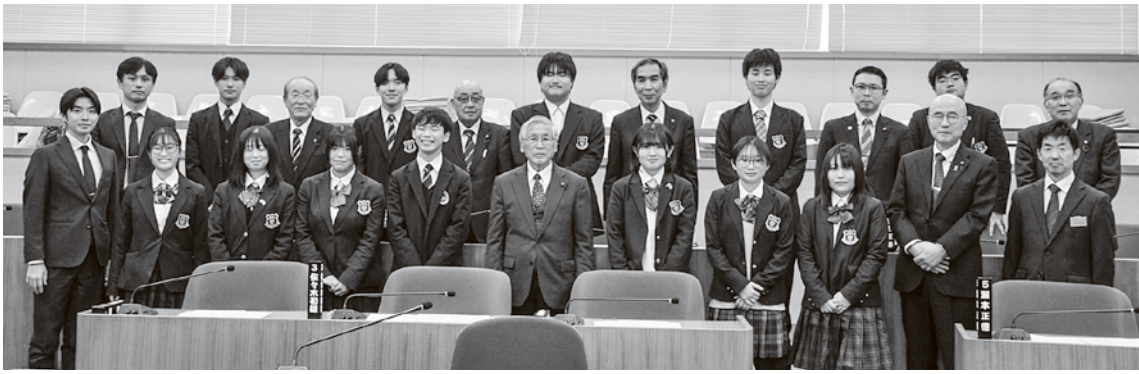
商工会、(株)ライトライトの意見

- ・ 事業承継の制度周知が必要。
- ・ 法人化や広域的な対応も。
- ・ 操業に係る後押しへの支援も重要。



△ 後継者問題などについて説明を受ける

# あつも 熱く盛り上げれ すみた あつもりミーティング



△ 議場を会場に、和やかな中でも真剣な質疑応答が行われた。

花の美しさや花言葉に興味があり、高校でアツモリソウを育てる活動を開始。花の栽培や、作品の制作など花の魅力を伝える活動を行っていききたい。

## 花の魅力について

地域みらい留学生として神奈川県から住田高校に入学。高校での様々な体験を通して、都会から来たからこそ感じる住田町の魅力を、未来に残していきたい。

## 僕から見た住田町

令和6年度に引き続き、住田高校生と議員との意見交換会「すみたあつもりミーティング」が2月10日に開催されました。2年生の3名が地域創造学で取り組んだ成果発表を行った後、議員との意見交換が行われました。高校生目線での発表や提案は率直で新鮮。議員団も、視野が広がる、心地良い刺激を受けたひとときでした。



ささき ゆい 佐々木 優衣 さん



ゆあさ こうや 湯浅 皓楚 さん

## 議会を傍聴しよう!

町議会は誰でも傍聴できます。次の6月議会の予定は下表のとおり。

生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席へお入りください。

令和8年3月議会の傍聴者は  
**17人**でした。



### 6月議会は

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

世の中には多様な性の在り方がある一方で、認知度が低く、差別が残っている現実がある。生徒の意見が反映されやすい住田高校の強みを活かし、理解の促進に取り組んでいきたい。

## ※LGBTQ+に 対する理解を 住高から深める



きんの ゆい か 金野 結花 さん

## 全国コンクールで奨励賞



△ 現広報編集委員

すみた議会だより18号が、第40回町村議会広報全国コンクールで奨励賞（言語・文章部門）を受賞しました。「全体のデザインやメリハリ、余白設計に統一感があり、紙面構成は高水準」との評。これらに繋がるうれしい評価

# わたしの未来

住田町の子どもたちが  
将来の夢を語る  
コーナーです。  
自薦・他薦も大歓迎。申し  
込みをお待ちしています。

## ゲームが大好き

僕の夢は、eスポーツゲーマーになることです。僕はゲームが大好きだし、ゲームの大会などを見ると、すごく楽しいからです。僕もあの場所に立って、ゲームの大会で優勝して、大好きなゲームで全国制覇したいです。



世田米小学校6年  
さとう ことつ  
**佐藤 虎徹**  
(世田米字川向)

## 人の命のために

僕の将来の夢は、消防士になることです。理由は、僕のお父さんも消防士をしていて、どれだけ恐ろしくても、人のために、すぐ行動をしていました。僕も、たとえ一つの命だとしても、恐れずに、勇気をもって、みんなに頼られる消防士になりたいです。



住田中学校1年  
たちばな かいと  
**立花 快翔**  
(下有住字新切)

## 編集後記

委員 水野正勝

▼このたび、議会広報紙の全国コンクールで、奨励賞を受賞しました。いつも読んでいただいている皆さまをはじめ、これまで制作に関わってくださった方々に、心より感謝申し上げます。▼今号では、議会のあらまし、議案審議、議会レポートを担当させていただきました。限られた紙面の中で、できるだけ内容を分かりやすくお伝えできるよう努めました。ご感想をお寄せください。

## 表紙の写真



日に日に暖かくなり、あちらこちらで桜が咲き誇り、春を感じられる4月。世田米保育園の子どもたちは鯉のぼりと背比べをして大盛り上がり。

「僕のほうが大きいでしょ!」「私も鯉のぼりみたいだよ!」と園児たちの笑顔がはじけます。

## 広報編集常任委員会

### 発行責任者



議長	佐々木 春	一
委員長	荻原 勝	勝津勝靖
副委員長	金野 千	正
委員	水野 高	橋部 祐
	阿部 信	一
	佐々木	